

SDGs 時代における科学技術のあり方  
—ブダペスト宣言から 20 年—  
第 7 回研究会  
(2019 年度第 4 回)

1. 日時 2020 年 3 月 11 日(水) 15:00~17:00

2. 場所 ZOOM 利用、オンラインによる研究会

3. 出席者 ※敬称略

代表者 有本 建男	国際高等研究所副所長、政策研究大学院大学客員教授、 科学技術振興機構研究開発戦略センター上席フェロー
大竹 暁	東京大学東京カレッジ副カレッジ長・未来ビジョン研究 センター特任教授
隠岐 さや香	名古屋大学大学院経済学研究科教授
狩野 光伸	岡山大学副理事・大学院ヘルスシステム統合科学研究科教授、 外務大臣次席科学技術顧問
小寺 秀俊	理化学研究所理事、OECD 科学技術委員会日本代表・副議長
駒井 章治	奈良先端科学技術大学院大学先端科学研究科准教授
新福 洋子	広島大学大学院医系科学研究科健康開発科学教授
宮野 公樹	京都大学学際融合教育研究推進センター准教授

国際高等研究所事務局  
三石 祥子、 森口 有加里

4. 議題と進行

- 1) 報告書について：15:00~16:00
- 2) 研究会の今後の方向について：16:00~17:00

5. 内容

議題 1) について

- 報告書の全体テーマと目次構成(資料 1)に関する意見交換と確定
- 報告書原稿ご執筆に関する事務的事項等について(資料 2)により事務局より説明

議題 2) について

- 2020 年度の研究会の予定として、ほぼ決まっていることは以下の二点
  - ① 5 月末原稿(日本語)締切、その後編集、秋公開
  - ② 9~12 月英語化(機械翻訳とポストエディット利用)、2020 年度中に公開
- 2020 年度の本研究会の活動の具体化
  - (試案)・グローバルヤングアカデミー2021 年度日本招致への支援、日本版ゴードン  
コンファレンスの試行
  - ・科学と哲学と芸術の対話、関西万博準備プロセスへの貢献  
; 他の組織、海外との連携等
  - ・2021 年度以降の高等研の方向検討への寄与

6. 資料

- 1) 報告書の内容について
  - 2) 原稿ご執筆に関して
  - 3) 高等研全体の動き
- 参考 1: 科学技術基本法の改正のポイント  
参考 2: 日刊工業新聞記事